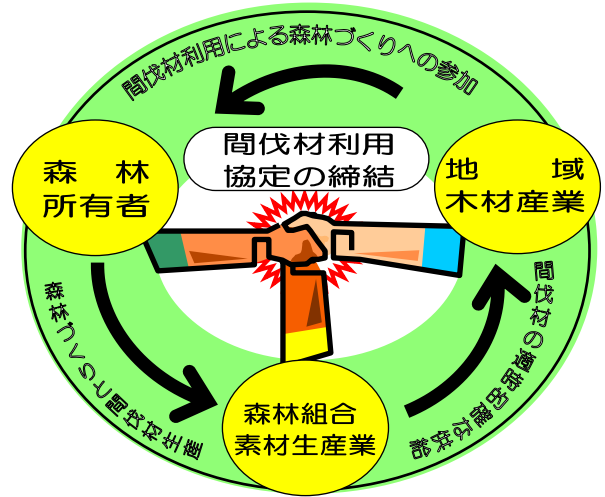


# 『間伐材利用の環モデル事業』の成果

平成21年度「長野県森林づくり県民税」を活用して、『間伐材利用の環モデル事業』を実施しました。

この事業は、右図のように、地域で生産された間伐材を、地域で循環利用する仕組みづくりを行なうため、関係者が協定を締結していきましょうという事業です。

木曾地域では、「木曾森林組合」から生産されるカラマツ材を、「木曾官材市売協同組合」を介しながら、南木曾町の「株式会社勝野木材」へ流れる仕組みづくりを行ない、木曾地方事務所でも、これを支援しています。



木曾森林組合から伐採材



運搬



木曾官材市売協同組合での選木  
(材の径級などによる仕分け)



株式会社 勝野木材での製材(仕上げ)

平成22年度には、この環モデル事業により500m<sup>3</sup>のカラマツ材を使用する計画になっています。

このように、木曾地域で生産された貴重なカラマツ材を、地域の工場で品質の優れた製品に仕上げる仕組みが、今後も重要になってくるかと思われます。



カラマツの半製品(梁用・乾燥済)